

外来研修 カルテ共通フォーマット（オリエンテーション期間に覚えてください）

「赤字」（下線）はフォーマットの説明文 全て削除して確定を。

「青字」（破線）は凡例やオプション 適宜削除修正して使用。確定前にフォントを黒に戻す

【主訴】

【紹介元】

【現病歴】

現病歴の主語は患者さん。体言止めは避ける。時系列に沿って。話し言葉は医学用語に変換を。

①患者背景...

②時系列...

③来院の目的：本日、～の目的に、独歩or車椅子で来院した。

●Review of system (ROS) ver. 2 あてはまれば○を記載

①[全身] 睡眠不良 食欲不振 体重減少 体重増加 発熱

②[皮膚] 皮疹 掻痒感

③[頭部] 頭痛 めまい 失神 外傷

④[眼] 視力低下 眼振

⑤[耳] 難聴 耳鳴り 耳痛

⑥[鼻] 鼻水 鼻血 鼻閉 副鼻腔炎

⑦[口腔] 虫歯 入歯 嚙声 嚥下困難 痛み

⑧[頸部] こり 痛み リンパ節 腫れ

⑨[乳房] しこり 分泌物 痛み

⑩[呼吸器] 呼吸苦 喘鳴 咳 痰 喀血 胸膜痛

⑪[心血管系] 動悸 胸痛 呼吸困難 浮腫

⑫[消化器系] 痛み 胸やけ げっぷ 吐気 嘔吐 下痢 便秘

⑬[泌尿器系] 夜間多尿 頻尿 尿閉 血尿 排尿時痛

⑭[婦人科系] 月経不順 不正出血 月経痛

⑮[筋骨格系] 浮腫 静脈瘤 関節痛 背部痛

⑯[内分泌系] 口渴 多飲

⑰[神経系] 嗅覚 麻痺 知覚障害 平衡感覚 歩行 痙攣 話し方

⑱[精神科系] 神経質 うつ状態

【既往歴】

【家族歴】

【生活歴】喫煙： 、飲酒： 、アレルギー： 、

【内服薬・サプリ】*必要に応じて記載

【患者解釈モデル】*必要に応じて記載

【身体所見】

主訴病態に応じて必要な身体所見を確認。確認していない身体所見の記載は必ず削除、追加で確認した身体所見があれば追記。バイタルは看護記録などのコピー可。

*身体診察まで行ったところで、患者さんには「上級医と相談して方針を決めますので一旦退室ください」と説明。病歴・アセスメントまで記載完了した上で、上級医と検査・治療方針を相談する。

意識：JCS 、GCS E4V5M6

バイタル 体温 °C、血圧 mmHg、脈拍 回/分、呼吸数 回/分 SpO₂%(室内気)

頭頸部：

顔貌異常、眼球結膜 黄疸、眼瞼結膜 貧血、

咽頭発赤、咽頭腫大、舌 乾燥、

頸部リンパ節 触知、甲状腺腫大、

頸部硬直、Jolt Accentuation、

胸部：

呼吸音異常(減弱、消失、呼気延長)、

副雑音<断続ラ音(水疱音、捻髪音)、連続ラ音(笛音wheezes、いびき音rhonchi)>

心音 I音 減弱 亢進 II音 減弱 亢進 III音、心雑音

腹部：

腸蠕動音 減弱 亢進、

手術痕、腹部圧痛、

CVA叩打痛

四肢：

下肢浮腫、下肢静脈瘤、下肢 右足背動脈拍動 左足背動脈拍動

神経学的所見：麻痺、四肢腱反射、異常腱反射、

【検査所見】

採血：

検尿：

SARS CoV-2 抗原迅速検査：、インフルエンザ抗原迅速検査：

心電図：

胸部単純写真：

CT：

※CTはX線被ばくを伴う検査だが、そのリスクを上回る有益な情報が得られることを患者に説明の上、検査を依頼した。

【アセスメント】

プロブレムリスト毎にアセスメントを。外来必携を参考に問診と身体診察から3つ程度は鑑別疾患を挙げる。各検査を行った理由も可能な限り記載する。指導医と相談後、行わなかった方針・検査などは削除する。

#1 ○○

○○の病歴や○○の身体所見より○○を疑い、○○の検査を行った。

#2 ○○

○○があったが、○○からは○○は否定的と思われ、経過観察の方針とした。

【プラン】

(1) 診断的計画：○○検査の結果、○○の可能性を考え、○○を予定した。○○の可能性も考えられるため○○となったら○○を行うこととした。

(2) 治療的計画：○○から○○の診断・病態を考え、○○の処方を行った。

(3) 教育的計画：○○が考えられるので、○○のように過ごしてください。

次回外来までにor○○しても、○○のような状態となったら、来院orご連絡下さい。

以上患者さんへ説明し了承を得た。○○先生の指導の元、診療を行った。